



九野本 稲荷神社 (くのもつ いなりじんじや) ◆例祭日は、9月第2土・日曜日です。
(開始時刻は、土曜が午後1時、日曜が午前10時)
大同2年(807年)に九つの野を開墾し、京都伏見稲荷より舞分霊の稲荷大明神を勧請し祀られたと伝えられています。天保12年、明治44年、昭和42年の3回社殿の再建が行われました。獅子舞が行われたのは、明確ではありませんが今から240年前、野川の大洪水により田畑が荒れたのを復讐、二度と災害の起こらないよう神に祈ったと今日に伝えられています。



歌丸 歌丸神社 (うたまる うたまるじんじや) ◆例祭日は、9月第1土・日曜日です。
(開始時刻は、午後3時から)
和暦5年(713年)に宇佐八幡宮より分霊されたと伝えられ、昭和21年には子宝の神として有名な大宮子易神社と合祀し、歌丸八幡神社から歌丸神社に改称。口を大きく開け、地面に頭が付くほど反り返った後に歯で大きな音を出す「響心」や警護に大きく寄り掛かる「見返し」、大きく開けた口の中に杯ごと神酒をいただく姿などは、他では見られない特徴的な獅子舞です。



平山 熊野神社 (ひらやま くまのじんじや) ◆例祭日は、8月14日・15日です。
(開始時刻は、両日午後5時30分)
古来より地域住民の山頂鎮座の産土神として信仰が厚く、本殿(奥の宮)は出羽五段600米の熊野山頂にあり寛政3年社殿を再建。祭事は元首原神社で斎行され、昭和9年羽黒神社を合祀し同11年に菅原・諏訪・藤白・白山・稲荷各神社を合祀以来、平山中の鎮座として崇敬されています。舞の中で警護神を獅子頭の口に噛ませてステローを懸けるのが市内の神社では見られない特徴です。



川原沢 巨四王神社 (かわらざわ こしおうじんじや) ◆例祭日は、8月16・17日です。
(開始時刻は、16日が午後6時から17日が午後2時から)
大正12年に建立された合祀記念碑によると、明治44年に川原沢内の蛇附巨四王・諏訪・熊野・皇大山・稲荷各神社を合祀したと伝えられています。この中で巨四王権現と蛇附明神の創建は古いとされています。また、平成15年に境内を拡張、社殿・拝殿・庫裏・社務所を建て鳥居を建立、社道を開きました。



寺泉 五所神社 (てらいずみ ごしょじんじや) ◆例祭日は、8月14日・15日です。
(開始時刻は、14日が午後4時、15日が午後3時)
古来より、朝日岳・祝瓶山は山岳信仰の霊場として栄え、朝日山大権現と言われていました。寛治4年(1090年)源義家の命により、朝日岳・岩上岳・小朝日・月ヶ峰・三淵の五ヵ所を合祀したと伝えられています。これ以後、五所大明神と称され、地名も五祭所と改められました。



宮 總宮神社 (みや そうみやじんじや) ◆今年の例祭日は、9月16日・17日です。
(開始時刻は、いずれの日もおよそ午後2時30分)
總宮神社の獅子舞は、長井の獅子舞の起源といわれています。今から千年程前長井地区は前九年の役の戦いの中でした。敗軍の将の娘「卯の花姫」が野川の支流で三淵から身を投げ、大蛇となり民を守り神に祀られました。里宮である總宮神社に下ってくる姿が獅子舞になったと言われています。總宮神社の獅子舞は、伝統と歴史を感じる格調高い獅子舞です。市指定無形民俗文化財。



草岡 津嶋神社 (くさおか つしまじんじや) ◆例祭日は、春5月5日、夏8月15日・16日です。
(開始時刻は、15日が午後6時、16日が午後3時)
草岡地区は、縄文時代から人が集まり、いつの頃からか人々は神を心の拠りどころとしたのが津嶋神社です。京都の八坂神社より分霊を勧請。
この獅子舞の特徴は獅子頭は口を開ける以外ほとんど動かさない点です。警護と一体で行動する動きも落ち着いた所作であり、威厳さえ感じさせる振りは圧巻です。



森 津島神社 (もり つしまじんじや) ◆例祭日は、5月5日です。
(開始時刻は、正午)
天和2年(1682年)の創建とされています。天保の年代、痘瘡が流行し、白蛇が出て住民をひどく困らせました。その折、安松寺住職に依頼し、須佐之男命を祀り、疫病退散祈願を行いました。満願の夜、雨風強く、雷山鳴動し、その後風雨晴れ深潭平田となり、村は安泰となりました。



時庭 豊里神社 (ときわ とよさとじんじや) ◆例祭日は、8月末の土・日曜日です。
(開始時刻は、土曜が午後2時30分、日曜は午後2時30分)
正和3年(1314年)の創立と伝えられ、大正6年に八幡神社と稲荷神社を合祀、大正9年に名称を豊里神社と改めました。
本殿の彫刻は文化財的価値がある素晴らしいものです。現在は、その保護・保存に努めております。



小出 白山神社・皇大神社 (こいで はくさんじんじや・こうたいじんじや) ◆例祭日は、9月第2土・日曜日です。
小出の獅子の起源は古く神事として始まり、氏子による獅子連中の結成も最古。市指定無形民俗文化財。白山神社のご神体は行基僧正(平安時代)作といわれ、後の1264年、加賀白山比咩神社の分霊を勧請し現在の神域となりました。皇大神社は伊勢神宮の社殿一字を拝受し置賜一円の総鎮守として鎮座しています。菅原白龍が明治8年、祠亭として二社兼帯の歴史があります。



十日町 白山神社 (とうかまち はくさんじんじや) ◆例祭日は、黒獅子まつり前の土・日曜日です。
(開始時刻は、土曜が午後2時、日曜が午前11時)
宮地区は大昔加賀地方から移された百姓が拓いたと言われ、加賀白山を勧請し、鎮守としてきました。明治になって白山権現は白山神社と改めましたが、度々火災に遭いました。昭和6年にも焼失し、翌年現在の社殿が再建されました。水の神として農家や酒屋などから崇敬されています。



泉 羽黒神社 (いずみ はくろじんじや) ◆例祭日は、9月第1金・土曜日です。
(開始時刻は、金曜が午後5時45分、土曜が午前9時)
宝暦12(1762)年、泉地区を流れる松川(最上川)の寅輪(みのわ)に流れていった黄金色の菰(こも)包みの中身は霊験あらたかな羽黒権現像であり東山に祀ったと伝えられています。昭和36年の大雪で東山社殿が壊れたため、氏子の協力のもと昭和52年に現在地に再建されました。



白兔 葉山神社 (しろうさぎ はやまじんじや) ◆今年の例祭日は、9月9日(土)です。
(開始時刻は、午後1時30分)
元々は、古代山嶽信仰の山の神として、また作神様として葉山山頂に祀られ、葉山権現とも称されておりました。その後、現在地に勧請されました。また、葉山山頂には、葉山宮と月山宮の2社が祀られており、20年に1度の「お建て替え」を行い、現在まで続いております。「白兔」という地名も世界で唯一です。



九野本 八雲神社 (くのもつ やくもじんじや) ◆例祭日は、9月4日です。
(開始時刻は、午後2時から)
神社の創立は太治3年(今からやく50年前)京都・八坂神社より舞分霊を勧請し建立。元禄2年と天明3年に社殿を改築。ご神体はこのあたりの神社では珍しい600年前の宍目上人の作と伝えられる牛頭天王(約8寸の立像)です。昔は癒癒の神として信仰が篤く、健康と交通安全の神様として崇敬されています。



河井 若宮八幡神社 (かわい わかみやはんじんじや) ◆例祭日は、9月第一土・日曜日です。
(開始時刻は、両日とも午後5時30分)
創立は、元禄4年(1691)京都若宮の分霊を祀っています。大正15年豊受比売命、八幡神社に合祀しました。この地の獅子舞は、経験豊かな人が多く、地区上げての家族的なものであります。
「静から動へ」「動から静へ」極めた勇壮にして、優美なる舞は、観るものを感動させるものです。



長井市観光交流センター
道の駅「川のみなと長井」が
オープンしました!
長井にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



TEL.0238-88-1831 (道の駅内)

長井の観光のことは
「やまがた長井観光局」に
お気軽にお問い合わせください!
投稿 http://kankou-nagai.jp